

理事長より

在宅医療は患者さんのご自宅で、それぞれの患者さんの状況に合わせて、一人ひとり違った医療を行っているという特徴があります。在宅医療に触れたことがない方から見るとまったく何をしている医療なのかわからないでしょうし、在宅医療を受けている患者さんも、ご自分の在宅医療はよくわかっていらっしゃるけども、他の在宅医療のあり方はわからないでしょう。在宅医療を行っている医療者でさえ、在宅医療を語れと言われても簡単に語りつくせるものではないのです。私が尊敬する先輩医師が在宅医療のことを、「患者さんごとの生活と人生を支える医療的努力の連続。そして何が正しいのか日々模索していく医療」といいました。この言葉はすべての医療に共通した当たり前のことを述べているだけのように聞こえますし、何一つ具体的なイメージがわいてきません。

しかし私にはこれほど在宅医療をよくあらわした言葉はないと思えます。この言葉通り、個々の患者さんの療養を支えようと努力をしている姿や患者さんとともに模索している姿にしか在宅医療の実情は見てこないのだと思います。さてこのたびヒロクリの実情をお伝えしつつ、現場が抱え悩み模索する姿を少しでもまとめていくことで、皆様とともに私たち自身も現在の在宅医療の理解を深め、将来の在宅医療を探って行けたらと思いヒロクリだよりを発刊しました。素人が作ったものですので、読みづらい部分も多々あると思いますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

さて最初は若くして重篤な疾患で在宅療養を選択された患者様のお話です。

はなぶさひろお
(英 裕雄)

銀座ヒロクリニック院長より

銀座ヒロクリニック開設の挨拶

みなさまこんにちは。銀座ヒロクリニック院長のいいと権井 徹と申します。

これまで新宿ヒロクリニックの常勤医師として訪問診療をしてきましたが、この7月より、中央区とその周辺地区に訪問範囲を拡大すべく、『銀座ヒロクリニック』を開設致しました。

より多くの方々が、安心して、安全な、安定した在宅療養ができるよう、新しい地域のみなさまに貢献していきたいと考えております。

～あなたの人生によりよい医療を～をモットーに丁寧な診療を心がけていきたいと考えております。三育会 銀座・新宿ヒロクリニックを今後ともよろしく願いいたします。



在宅の現場にて

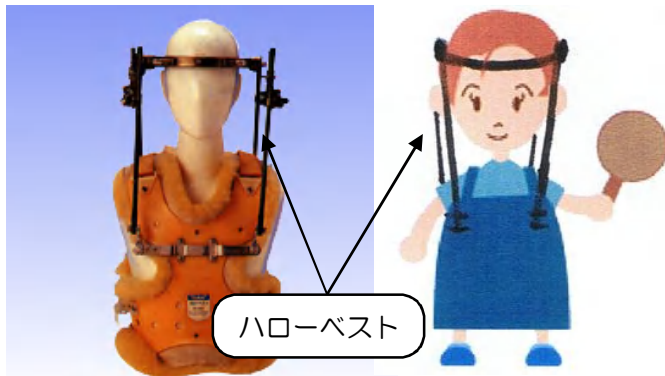
Aさん：45歳女性

#胆管細胞癌 #多発性肝転移 #頸椎転移に対して圧迫骨折(ハローベスト装着)
#腰椎転移に伴う圧迫骨折

45歳の誕生日にT病院を退院されたAさん。退院当日は御家族で誕生日を祝い、翌日から訪問診療を開始しました。初めてお家にお伺いして第一の感想は、「Aさんが家族の中心なんだな」ということでした。なぜならAさんが過ごすベッドは、台所やお食事用のテーブルを見渡せる日当たりの良いスペースにどーんと置かれていたからです。

Aさん自身も「ここだと子供達の部屋にも近いのよ」と嬉しそうでした。

こんな形で自宅での日常生活を賑やかに再開されたAさんは、骨への転移はあるものの痛み止めやハローベスト(図のような装具です)を装着することで立ったり座ったり歩いたりすることも十分可能で、三人のお子さん達の世話をしたり一緒に遊んだり、新学期の準備をされるなど、母としての日常生活に勤しまれました。



ある日の訪問時、こんなことがありました。お家に入るとAさんと息子さんが言い合いをしています。「どうしたの?」と声を掛けようとしたところへAさんが「宿題をやらなくて遊びに行くって言うから・・・」と理由を説明してくれました。それからAさんの優しくそして厳しいしつけは続き、息子さんは泣きべそをかきながらも宿題に取りかかることになりました。後でAさんは「今のうちに言えることは言っておきたいの。これが私の役割。」と母としての気持ちを打ち明けてくれました。こんな場面に出会えるのも在宅ならではと、私もあたたかい思いになりました。

また、Aさんお一人では大変だった入浴もこまめにでき、ハローベストのためにあきらめていた洗髪ができたのは、訪問看護師さん達の大変な尽力のお蔭で、Aさんもとても喜ばれていました。

その後も日によって体調には波がありましたが、おなかや腰の痛みに対しては痛み止め、体のむくみに対しては利尿薬などを状態に合わせて調整することで、苦痛を緩和してお食事やお通じ、睡眠などの日常生活を穏やかに、御自分のペースで過ごされました。

退院されて3週間ほど経った頃から徐々に黄疸が出て、食欲も少なくなるなど、徐々に弱られ、ベッドで過ごされる時間は長くなりましたが、御家族の介助やAさん自身の工夫、訪問看護師さんの介護、介護保険サービスの利用(介護用ベッドやマットレスの利用等)によって、毎日を御家族と一緒に苦痛なく過ごされました。

旅立ちの時が近づくにつれて、痛みや呼吸の苦しさなどの苦痛はないものの、ベッドで休んでも体のだるさなど身の置き所のないような状態となり、意識も混濁するようになりました。このような場合、痛みや呼吸の苦しさなどの苦痛に対する治療は続けながら、鎮静剤を使って少し眠られるようにしてあらゆる苦痛を緩和し、『最後まで人間として尊厳を保って生き抜くこと』を援助する治療手段があり、これを『鎮静』といいます。Aさんの場合も、御家族に状態を説明・相談して点滴で鎮静を開始しました。

静かに眠られているAさんを見ながら、Aさんのお母さんが話し始めました。「この度はハローベストを装着されたからこそ無事に退院して家の中も動き回れました。今は静かに寝ている状態で、もう必要はないわよね。本人もきっと希望すると思うので外してあげたいの。」私は、Aさんの御主人と一緒にハローベストを外しました。お子さん達が今まで以上に遠慮なくAさんに抱きつき、みんながAさんを囲む輪が一層小さくなりました。その後も穏やかな表情で御家族や親類の方々に囲まれて過ごされ、退院から25日目に静かに永眠されました。

Aさんは、御自宅で苦痛を緩和する治療を継続し、最後まで主婦として、母としての役割を全うされました。T病院を退院するまでの十分な治療、T病院と当院との医療連携、訪問看護師さんや介護保険サービスとの連携があったからこそAさんらしい自宅療養が可能になったと感慨深い思いです。

いとだ まい
医師：井戸田 舞

看護だより

訪問看護のお知らせ

当院では、医療保険の対象になるような重症者やターミナル期の方に対して訪問看護を行っています。介護保険が始まって10年が経過し、在宅医療が認知されつつある昨今、これまでのある程度落ち着いた、慢性的な患者支援は充実してきたと思います。在宅医療が認知されることはとても喜ばしいことですが、保険制度の変更とも相まって積極的な治療が出来なくなってしまった人が、医療的な処置が多いにもかかわらず退院を余儀なくされてしまうケースや、入院したくてもなかなか入院できないというケースが増えてきました。また、人生の最期を自宅で迎えたいという方が増えてきたことも事実です。

このような方たちに、出来るだけ多く関わればと考えています。必要な方に、必要なだけ看護を提供することを目的とした訪問看護を行っています。詳しくは、医師や看護師に気軽に問い合わせただけであれば幸いです。

短い期間だけの関わりになるかもしれませんが、よろしく願いいたします。



MSWコラム

2008年度がスタートし、あっという間に半年が過ぎようとしております。この度、「ヒロクリだより」が発行されることとなり、記念すべき第1回目に何を書けばいいか非常に迷いましたが、まずは自己紹介で幕を開けたいと思います。

ところで、「MSWって?」「何をしてくれる人?」と疑問に思われる方もいらっしゃると思いますが、MSWとは、Medical Social Workerの略語で、医療ソーシャルワーカー、簡単に言えば「相談員」のことです。業務内容は、各医療機関の種別や特徴によって異なりますが、ヒロクリニックにおけるMSWの主な業務は、①新規患者様の依頼における相談②自宅療養中の様々な問題に対する相談③各関係機関（病院・訪問看護ステーション・ケアマネージャー等）の方々との連絡調整・各種書類の手配等々多岐にわたりますが、「相談窓口」という機能が大きな役割だと思っています。今後のヒロクリだよりで、どんなことをしているのかをもう少し詳しく紹介をしていくこととし、今回は人物紹介をさせていただこうと思います。

○氏名：唐木 香子（からき きょうこ）
⇒隣が似顔絵です。

○出身：新潟県生まれの富山県育ち。
現在は長野県松本市に実家があります。

○趣味：バレーボール
（現在は、シッティングバレーボールを長野県で立ち上げ、毎年夏に行われる白馬大会に参加しています。）
ピアノ



○好物：苺（ビニールハウスを貸切にしたことがあります）

と、スペースの都合で今回は簡単に紹介させていただきましたが、今後、このMSWコラム欄では、院内スタッフへの突撃インタビューや口コミ情報等医療や福祉とは関係ない記事も載せて、ほっと一息つけるスペースにしていきたいと思っています。ご要望がありましたらいつでも御連絡ください。

その他

・事務連絡



もう届いていますか？ お手元に！

新しい受給者証 「障」受給者証」「都」医療券」

新しい受給者証・医療券が届いたら事務までお知らせ下さい。

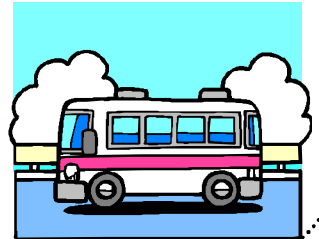
・イベントのご案内 貸し切りバスで行く秋の温泉ツアー

ゆったり温泉満喫ツアー2日間の旅を企画しました。(院内患者様限定です)
※リフト付バスなので車椅子ご利用の方も安心してご参加いただけます。

◆行き先：伊豆長岡(伊豆洋らんパーク見学や沼津ぐるめ街道の駅でのお買い物。その他、富士サファリパーク見学など見どころいっぱいです！)

◆旅行日：2008年10月7日(火)～8日(水)

詳しい内容については、クリニックまでお問い合わせください。



アクセス紹介

医療法人社団 三育会

新宿ヒロクリニック

〒160-0023

東京都新宿区西新宿3-3-11

杉本ビル3F

TEL:03-5909-1220(在宅・在宅医療相談室)

TEL:03-5909-1231(外来)

FAX:03-5909-1233

医療法人社団 三育会

銀座ヒロクリニック

〒104-0045

東京都中央区築地2-7-12

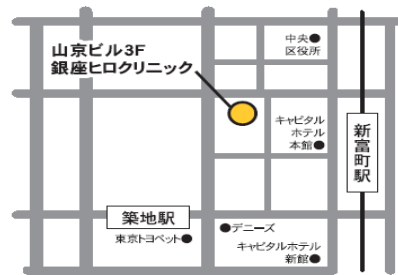
山京ビル3F 308

TEL:03-5551-1220

FAX:03-5551-1221



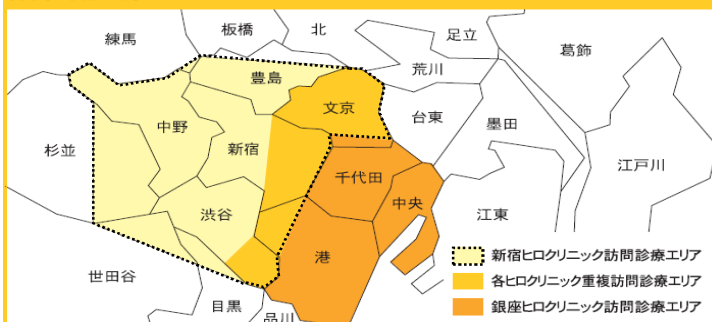
- JR線「新宿駅」南口……………徒歩7分
- 地下鉄大江戸線「都庁前駅」……………徒歩5分



- 地下鉄有楽町線「新富町駅」……………徒歩2分
- 地下鉄日比谷線「築地駅」……………徒歩2分

訪問エリア

訪問診療のエリア



その他の地域についてもご相談ください。
対応可能な場合があります。

編集後記

スタッフ全員で知恵を絞り作り上げた はじめてのヒロクリだより「かけはし」はいかがでしたか？
次回(冬号)は12月にみなさまのお手元にお届けの予定です。

ご意見・ご感想などありましたらお気軽にお寄せください。

秋号 2008 vol.001 2008年9月発行
発行／医療法人社団 三育会
〒160-0023 新宿区西新宿3-3-11
編集責任者／芝